

\* 本稿を書いている2022年11月上旬、皆既月食が起きました。起こる数日前からネットや各種メディアで話題となり、当日は全国の多くの場所が好天に恵まれ、また時間も午後9時前後と遅くもなく早くもなく、多くの人々が夜空を見上げ月食を鑑賞しましたし、翌日もその模様がTVで放送されていました。でも、いざ写真を撮ろうとすると、想像以上に月が小さかったり、白すぎたり黒すぎたりざらざらしていたり、ピントがなかなか合わなかったり、手持ちだと動きぼけが予想外に大きかったりで、きれいな月食の写真を撮るのはなかなか難しいことに気が付いた方も多かったのではないのでしょうか。中にはとても月とは思えないほど意外な写真が撮れてしまい、それを共有し合う「月食写真下手こそ選手権」が月食直後にソーシャルメディアで話題となりました。被写体としての月はあくまでこの世に一つのものなのですが、同じ時刻に撮ったとしても、様々な撮像デバイスと様々な撮り方で、画像として得られる情報が融通無碍に変化をした例と言えましょう。画像の撮像において情報がいろいろに変化する過程のことを「劣化過程」

と呼びますが、月だけでなく多種多様な劣化過程も観測された一夜でした。

\* 今号の特別小特集「画像の高画質変換技術の最新動向」では、光量不足でざらざらの雑音が重畳していたり、ピントずれや手ぶれによるぼけが生じたりした場合には、画像が持っているであろう信号の性質を手掛かりに原画像に迫る「画像復元技術」や「雑音除去技術」を解説しています。加えて、映像をきれいにディスプレイ表示する技術、自然な動きを保ちつつ映像の毎秒こま数の国間の違いを吸収する技術、画質を保ちつつ映像をより小さく圧縮する技術、画質を定量化する技術の最新動向を紹介しています。御高覧頂けましたらと思います。

\* 年最初の満月は「ウルフムーン」と呼ばれ、2023年は1月7日に起こるそうです。本誌が皆様のお手元に届く頃はウルフムーン前後の頃かと思います。月夜に画像の品質について思いを馳せるのも一興かと思えます。  
(編集理事 高村誠之)

## 複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌に掲載された著作物の複写複製に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。複写複製を御希望の方は、一般社団法人学術著作権協会 (<https://www.jaacc.org>) が提供している複製利用許諾システムを通じて申請して下さい。

なお、複写以外の許諾（著作物の転載、翻訳等）に関しては、委託しておりませんので、直接本会へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

著作物利用許諾申請：<https://www.ieice.org/jpn/copyright/tensai.html>

## Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

The IEICE authorized Japan Academic Association For Copyright Clearance (JAC) to license our reproduction rights of copyrighted works. If you wish to obtain permission of these rights, please refer to the homepage of JAC (<https://www.jaacc.org/en/>) and confirm appropriate organizations to request permission.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

IEICE Secretariat Office,

E-mail: [permission@ieice.org](mailto:permission@ieice.org)

Permission request form: <https://db.ieice.org/chosaku/sinsei/index-e.php>